

グループホーム[ **アイケアホーム** ]

# 1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	3474400516		
法人名	有限会社 アイ		
事業所名	グループホーム アイケアホーム		
所在地 (電話番号)	広島県福山市神辺町東中条1177番地の2 (電話) 084-960-2341		
評価機関名	特定非営利活動法人 あしすと		
所在地	福山市三吉町南一丁目11-31 大福ビル三吉201号		
訪問調査日	平成19年6月20日	評価確定日	7月10日

【情報提供票より】( 年 月 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 7 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7.65 人	常勤 6 人, 非常勤 4 人, 常勤換算	7.65 人

(2) 建物概要

建物形態	併設 <b>単独</b>	<b>新築</b> 改築
建物構造	木造平屋建て 造り	
	1 階建ての	1 階 ~ 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	107,440 円	その他の経費(月額)	1,500 円
敷 金	有( 円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 900 円		

(4) 利用者の概要( 5月 7日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名
要介護1	3 名	要介護2	3 名		
要介護3	2 名	要介護4	1 名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 85.11 歳	最低	75 歳	最高	96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	亀川病院・小川内科胃腸科・おきとう歯科クリニック
---------	--------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

福山市の東北部の静かで自然豊かな環境に恵まれた中にある「アイケアホーム」は、玄関が大変きれいに掃除がなされており清潔感があり、施設内の各個所とも整理整頓がなされていた。建物の周辺は池に囲まれ、桜並木、魚釣り、季節の野鳥が飛来するという、自然の美しいところであり、入居者の外出・散歩等に適した立地で、気分転換・機能訓練を兼ねた歩行(散歩)が出来る恵まれた環境にあります。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の評価では、地域との交流が課題となっていました。『愛便り』を3ヶ月毎に発行しグループホームの紹介や『マメニュース』『行事』等入居者家族や地域の住民が楽しめるように内容に工夫し、運営者は地域の重要な役員として活動していることもあり、地域住民のホームに対する理解が深まりつつあります。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>評価結果をもとに、ミーティングや全体会議を開催して、評価を活かしたサービスの質の向上・改善に取り組まれています。サービスの質向上に対する姿勢が見受けられます。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議は、外部の意見をケアサービスに取り入れる重要な情報であることから、地域の有識者(町内会長・民生委員・地域包括支援センター・家族代表)とグループホームの関係者が意見を出し合い、地域とホームの情報の交換・共有に努められています。今後は地域における認知症ケアの情報の発信源として活躍されることを期待します。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>季節に合わせた行事や外出に入所者と家族も誘って積極的に実施されており、家族と疎遠にならないように利用料を手渡しするなどの配慮がなされている。定期的に『愛便り』を発行している他、利用者の日々の生活の様子を写真等を活用しながら報告されており、家族が入所者の暮らし振りや表情を確認出来るように配慮がされている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域の人と共同してホームの庭で盛大な夏祭りの開催等、地域と交流するなかでグループホームの機能や役割の紹介など、地域住民と共に入所者の支援に取り組む姿勢がうかがえる。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	独自に作り上げられた理念のもと、入居者の安心した暮らしが出来る支援を柱としている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	スタッフ全員が、すべての入居者に対して、理念が反映されるよう確認しながら日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	管理者・スタッフの努力で前向きに取り組む体制が出来ている。運営会議等の中で地域密着型サービス事業所としての地域との交流も出来ている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価はスタッフ2名で作成されている。		自己評価は、運営者・管理者・職員の全職員の意見の集約であり、評価を活かしていくために、自己評価・外部評価の意義を理解されることが望まれる。
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	町内会長・民生委員・家族会等との会合を2ヶ月に1回実施している。現在取り組んでいる事項の報告、行事計画、意見交換等を行っている。		運営基準が、以前の「家庭的な環境も下で」という表現から、制度改定により「家庭的な環境と地域住民との交流の下で」に改められ、地域との関りが重視されました。さらに地域との意見交流の推進が望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行政機関への運営推進会議内容の報告、介護保険の保険者である行政意見の傾聴等が不足していると感じた。		地域密着型サービスであることから市、町の職員にも運営会議等への参加を依頼し、事業所の実情・ケアサービス等の意見交換を積極的になされることが望まれる。
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	介護計画は入居者個人の状態の報告がなされている。金銭管理は定期的に家族への報告もなされており家族の承諾を得ている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	現在、不満とか苦情は寄せられていない。入居者家族の意見要望を聞き入れる体制は出来ている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	管理者を中心にスタッフが連携をとって、入居者へのダメージ及び人間関係がスムーズにいく配慮がなされている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人スタッフの指導は、働きながらのトレーニングで先輩からの順次指導で進められている。特に緊急時の対応等職員が1名になる夜勤時の指導を最優先に経験者が指導している。 外部研修を受ける機会も確保され実施されている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内の同業者との交流計画はあるが、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問などの具体化はまだなされていない。		難しい課題であるが、質の向上を図る上で相互研修会や事例検討会等の活動を通じて、サービスの質の向上への取組みが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	入居前に入居者または家族とよく相談をして納得の上で決定している。		入居決定前に充分話し合いはなされているが、入居者の生活歴や趣味等を把握するために、入居前に体験入居してもらったり、スタッフが自宅を訪問したりして精神的に安定した状態で入居を決定されることが望ましい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	食事の協働やフーセンバレーなど、入居者の好みをよく理解し無理のない楽しみごとを見出して、スタッフと共に入居者が楽しく生活出来る工夫がなされている。		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	入居者本人の生活歴等を把握し、家族とも意見交換をしながら得意分野を生かしたケアサービスの努力がなされている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	入居者や家族の意見を聞き、担当者会議でよく話し合い、介護計画作成および見直しがなされている。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	3ヶ月毎の見直しの他、その都度の問題点の話し合いもスムーズに行っている。介護計画は個別にファイル化され状態変化や状況がいつでも確認できるように、書類整理がなされている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者の状況変化や緊急入院時に、家族が対応出来ない場合にも職員が柔軟に対応できる体制がある。小規模多機能型の自宅で暮らす認知症デイサービス等の需要は現在無い。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月1回の受診は確実にやっている。また症状に応じた受診も家族と相談しながら実施されており、医師との関わりもスムーズに保たれている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末に対する対応指針が定められており、看護師や提携医師の意見を聞く体制づくりがなされている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	言葉かけは丁寧であった。入居者の意思を尊重しようという態度が伺えた。トイレは十分なスペースが確保され、さりげない誘導がなされていた。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者が自分らしく過ごせるよう、一人ひとりのペースにあった支援がなされている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食器類は見た目のもすっきりと清潔なものであった。食事はゆっくり自分流に楽しんでいる様子が伺えた。片付けも手伝いの動きがあった。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望を取り入れた支援がなされている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者各自の能力に応じて食事の支度や片付け等、役割が出来ている。気分転換にドライブや散歩等外出の機会が多く取り入れられている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	入居者毎の外出頻度は高い。部屋に閉じこもらないように出来るだけの外出を試み、周辺の自然の中の散歩等多く取り入れられている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	心理的に圧迫感を与えないように、日中玄関の施錠はなされていないし、各室の施錠もなされていない。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の指導を受けている。スタッフには有事の時の避難場所の把握もしっかりなされている。敷地内に事業者の住居があり、早期に対応できる体制がある。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分摂取量の記録等で、個々人の一日の状態把握が出来ている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関・居室・台所・トイレ等すべてにおいて臭いも無く、整理整頓がなされていた。テレビの音量・空調も程よい。季節の花も沢山植えられていた。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	個室に使い慣れた感じの家具が置かれていた。馴染みの生活が出来るような工夫がなされていた。		

# 介護サービス自己評価基準

認知症対応型共同生活介護

事業所名 グループホーム アイケアホーム


評価年月日 19年 6月 20日

記入年月日 19年 5月 7日

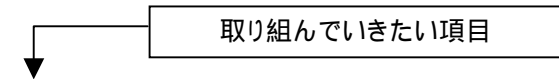
この基準に基づき、別紙の実施方法  
のとおり自己評価を行なって下さい。

記入者 職 管理者 氏名 吉井 公子



(  部分は外部評価との共通評価項目で

( グループホーム )



項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>				
1. 理念と共有				
1	地域密着型サービスとしての理念			
	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	独自に理念を作りあげている		
	理念の共有と日々の取り組み			
2	管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員会議のときに全員で唱和しているし理念にもとずいた日々の介護に取り組んでいる		
	家族や地域への理念の浸透			
3	事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	パンフレットに理念をのせておりすでに満室であるが地域の方に理解していただけるように取り組んでいる、またホーム内の見やすい場所に掲示している		
2. 地域との支えあい				
4	隣近所とのつきあい			
	管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩の際などに気軽に声を掛け合っている		
5	地域とのつきあい			
	事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	事業所主催の夏祭り等を開催をして交流することに努めている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の独居老人に、ホームの行事案内を配り参加を呼びかけている		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義を理解しており、改善に取り組んでいる		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	自己評価、外部評価について各メンバーに提供して状況の報告をしている、主たる内容は行事についての意見は色々あり取り上げて活かしている		
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	福山市は各事業所の運営推進会議への担当者の出席は出来ませんとの方針で困惑していますが相談指導を受けて質の向上に取り組んでいる		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	制度については、資料により認識しているし実際に活用したり支援をしている		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	文献の提供や助言をしている。職員は高齢者の虐待に関心を持ち自ら言葉遣いや接遇態度に気をつけている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時に重要事項をもとに利用者・家族へ十分な説明を行っている</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご意見箱を設置している。 1回/月、家族会やボランティアの協力を仰ぎ意見を聞き、ケアに反映させている</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>随時電話連絡や面会時、家族に報告している</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時や家族会の時に意見交換や相談の受付をしているが家族からの運営に対しての意見、不満、苦情は今のところありません</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員会議で意見交換しているし対応可能な意見から反映させている</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>必要な時間帯に職員を確保して調整している</p>		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>勤務表を利用者が見れる場所に掲示して職員が代わることが解るようにし新入職員については利用者の状態を速やかに理解するよう指導し利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部の研修をうける機会を確保している		
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との交流は出きていない、今後取り組みをしていきたいが交流をしたい同業者をまずあたっていきます		
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員休憩室がもうけてあり足を伸ばられる椅子、テレビが設置しており、休憩時間が食事のときに60分常に確保されている		
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	アイケアホーム代表者も職員と同じ業務に交代で勤務をしており職員個々の勤務状況は常に把握しており各自が向上心を持って働けるよう努めている		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	友好的態度で接し、表情などを観察しながら、本人の思いを十分に聴き取り、ニーズの把握に努めている		
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族の思いを十分に聞き取ったうえ、課題の把握に努めている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・家族から得た情報を整理し、課題を把握しプランに反映させている		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	お試し利用が出来るようにしている		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	洗濯たたみ、テーブル拭き、食事の準備・片付けなど一人ひとりの能力に応じた役割を持っていただいている		
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ホームでの活動に家族が参加できる場面や機会を作っている。(夏祭り、クリスマス会など)		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族へ宛て、本人手作りのはがきを出すなどの支援をしている。ホーム便りなどで暮らしぶりや日常の様子を伝えている		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	主に家族が支援している。(法事、墓参り、外泊など)		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	世話役の利用者に協力を仰いだり、利用者同士関係を考慮し配席の工夫をしたりしている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	契約終了後も、家族がボランティアとして協力してくださっている		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1.一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日ごろから入居者の意見を聴き、面会時には家族と意見交換している。また必要に応じて職員ミーティングをおこない、ニーズの把握に努めている		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人・家族から基本情報を聞き取り、これまでの暮らしの把握に努めている		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	アセスメントをし、現状を総合的に把握するように努めている		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	必要に応じてサービス担当者会議を行い意見交換し介護計画に反映させている		
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の期間に応じたモニタリングの実施と状態変化に応じた随時見直しを行っている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録に日々の様子を記録し、ケアや介護計画に反映させている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	緊急時の入院時家族が対応できない時職員が必要なものを準備して対応している、そのほか必要に応じて支援をしている		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	民生委員やボランティアの協力体制は出来ている。消防署へは1回/年、訓練を依頼している		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	入居、退去時相談し関わってもらっている		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	推進会議への協力はして頂いているがその他の包括支援センターとの協働はない		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居者・家族の希望する病院、医院で受診している。職員が同行し適切な医療を受けられるように支援している		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	契約病院の心療内科の専門医による治療が受けられるよう支援している		
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	職員の准看護師が健康管理や医療活用の支援をしている		
46	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	連携している医療機関がある		
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ホームとして重度化した場合の指針があり連携医療機関と本人、家族と話し合い全員で方針を共有している		
48	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	医療機関と相談しながら進めている		
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	保健医療福祉の関係者と情報交換を行い、家族とよく相談し、本人にとって一番よい方法を取っている		



項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>一人ひとりの意思を尊重し言葉遣いや態度に気をつけ信頼関係作りに努めている。また個人情報は管理保管場所に気をつけている</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>食事、排泄、入浴、外出先、服装など本人に選択、意思決定していただいている</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>生活行為全般に涉り、本人のペースに合わせ、主体性のある生活を支援している</p>	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>希望があれば理美容院の利用を支援している</p>	
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>献立には利用者の希望を取り入れるようにしている。配膳下膳の手伝いしていただいている。時には調理も一緒にする。</p>	
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>お酒・タバコは健康を害する為禁止している。おやつは一人ひとりの状況に合わせ量や、内容を調整している</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	出来る限りトイレ、Pトイレでの排泄を促し排泄パターンを把握し、早めの誘導や声掛けを行っている		
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している		
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	生活リズムを崩さないよう、日中は出来る限り離床し、昼夜逆転の予防に努めている。また主治医より安定剤の処方あり		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの能力に応じた役割(洗濯たたみ、配茶)などをしていただいている。また気分転換に外出支援を頻回に行っている		
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	日常の金銭管理を本人が行えるよう入居者の一人ひとりの希望に応じて支援している		
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	要望に応じ個々に外出支援を行っている		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	普段は行けないところに他の利用者と一緒にでかけて一緒に食事をする機会をつくり、支援している		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話を自由に使用できるようにリビングに子機を設置している。また携帯電話使用者もおられ自由に家族と連絡を取り合っている		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	ホーム内を自由に使っていただいている。喫茶の提供をしている		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員は身体拘束について正しく認識しており、拘束のないケアを実践している(資料 身体拘束ゼロへの手引き)		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	利用者に心理的圧迫をもたらさない為に施錠はしていない		
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員は常に入居者を見守りやすい場所に居て入居者一人ひとりの位置と様子を把握している		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	果物ナイフ、ライターハサミなどは保管場所を決めており、必要時に取りに来てもらい、職員見守りの中使用していただいている		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	緊急時の対応マニュアルがあり、すべての職員が対応できるよう日常ケアの中で助言指導している、ヒヤリハット報告をまとめ、事故防止対策を皆で話し合っている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	応急手当や初期対応の定期的な訓練は行っていない		
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防訓練実施済みで同じ敷地内に事業者の家族が住んでおり協力が得られる、また日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている		
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	リスクについて十分に家族と話し合い、合意のうえで行動を抑止したり強要しないよう努めている。 また日ごろの様子を家族に報告・相談し、リスクを共有している		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	体調の変化や異常のサインを早期発見できるよう、全ての職員が注意しており、気づいた際には病院受診するなど速やかに対応している。また記録に残すようにしている。		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬管理の担当者が準備した薬を職員が内服介助をおこなっているが用法用量を正しく理解しているとはいえないので症状の変化がある場合は准看護師に報告して管理者または施設長にも報告確認に努めている		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	主治医による便秘薬の処方、や献立にヨーグルト、緑黄色野菜を取り入れるなど工夫している。 また排便チェック表や水分チェック表に記録し状態の把握に努めている		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	歯科衛生士による口腔ケア指導を受け実践している		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者一人ひとりの摂取カロリー、水分摂取量、栄養バランスをチェック表に記録し把握している。また一人ひとりの状態に応じた食事形態を取っている(お粥、キザミ食等)		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染予防対策マニュアルをつくっている。うがい、手洗いの励行、食堂、トイレ、玄関、洗面所に消毒液を設置。排泄時はデスポ手袋を使用、布団の日光消毒、等を行っている		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食器類、調理器具は食器乾燥機で熱消毒し、食材は必ず消費期限をチェックしている		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りに草花を植え、玄関扉は常に開放している。玄関内は生け花や手作りの小物をおき、家庭的な雰囲気作りに配慮している		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	南側に居室がある為自然光が入りにくく、日中でも薄暗いため、館内に天窗をつけ、暗さを感じさせないよう工夫している。居室やトイレ、洗面所に季節の花を飾っている		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂やリビングに入居者のお気に入りの居場所がある		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具や生活用品を持ち込んでいただくよう提案し実際持ち込んでいただいている		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	毎日窓を開け換気を行っている。居室ごとに換気扇があり随時換気を行っている。冷暖房の調節により適正温度を保っている		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	玄関から廊下、居室までバリアフリーで、廊下には手摺を設置、洗面所は車椅子でも対応できるよう工夫している		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	各居室の入り口に個別の目印をつけ、トイレは分かりやすく表示するなど、混乱や失敗を防ぐ為の工夫を凝らしている		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関前は舗装路面で椅子を出して日光浴をしたり花壇の草取りとうが出来るようにしている		

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

アイケアホームは素晴らしい環境に恵まれており利用者は日々部屋の窓から見える景色に心が和むとおっしゃっています。4月には池の堤の桜が咲き、夏頃から冬にかけて渡り鳥が飛来して水遊びをするのを利用者の部屋から眺める事ができます。アイケアホームは運営者の住宅と同じ敷地内にあり、夜間等の緊急時の協力対応が速やかに得られます。また利用者の楽しみはなんといっても食事です。適温で軟らかいメニューで食べ残しの出ない完食される料理を心掛けています。さらに料理用飲料用の水は地下50mの地下水を利用しており、減菌の塩素の含有しない水を使用して利用者の健康に留意しております。